

農業

令和8年1月号
会誌 No. 1739



目 次

卷頭言

- 年頭に当たって 吉田 岳志 3

論 壇

- これからの果樹農業に必要なこと 福元 將志 4

○農事功績者表彰

- 令和7年度（第109回）農事功績者表彰式 6
大日本農会北米加州支会第109回大日本農会農事功績者表彰伝達式 13

○農業・農村担い手問題研究会

- 「第6回農業・農村担い手問題研究会」の開催について
「農業界の先駆者になる」 土居 裕子 14

○農事功績者座談会

- 消費地に近い立地を生かした養鶏専門農協の経営戦略 彦坂 茂 30
現地指導者のコメント 前田 高弘 35
意見交換 36

○表彰農家訪問

- オランダから導入した先進生産システムと地域資源の循環利用により
施設マッシュルームの大規模・高収益専作経営を確立 望月 龍也 46
—千葉県香取市及び旭市に大規模マッシュルーム生産法人経営者
菅佐原芳夫氏を訪ねて—

○食のエッセイ：農家の気持ち

- さつまいもに人生をかけた女の野望 新谷梨恵子 54

研究の最前線

- 地域データとデータサイエンスで挑む黒豆づくり 熊谷 悅史 55
—灌水支援で収量安定化—

私の経営と志

- 栃木県矢板市で家族経営のイチゴ栽培 鈴木 一平 65
—交流を通じて意識を高め合える場をつくる—

農政情報

- 大日本農会だより 68
編集部から 68

表紙写真説明：シリーズ農村の伝統祭事

サイトギ (岩手県 二戸市)

似鳥のサイトギは、岩手県二戸市似鳥に鎮座する似鳥八幡神社にて、毎年旧暦1月6日の春の例大祭に合わせて夜に行われます。行事は「オコモリ」「水垢離」「裸参り」「火まつり」からなり、五穀豊穣、無病息災を祈る神事・お祭りです。

400年以上の歴史をもち、本殿に供えられたオコモリ（米、麦、ヒエ、アワ、キビを混ぜ込んで炊いたものを剣状にかたどり、一晩凍らせた供え物）の状況、サイトギと呼ばれる井桁に組んだ木のやぐらから舞い上がる火の粉の流れ具合により、その年の天候や作柄を占います。

やぐらは毎年、1月3日に組されます。高さは9尺以上と決まっており、3メートル近い高さとなります。太鼓の音が響き渡る中、裸参りを終えたふんどし姿の男衆が威勢のいい声とともに燃え盛るサイトギを揺さぶる姿は圧巻です。

2010(平成22)年には、国の選択無形民俗文化財に選択されました。現在も住民によつて大切に守り伝えられています。

(写真および文：(一社)二戸市観光ツーリズム協会)